

株式会社 小見山商事

2015. 10 vol. 61

第 61 号

こみやま レポート

清秋の候、皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。さて、平成 23 年 4 月 1 日より、排出事業者が処理状況に関する確認を行う努力義務が規定されました（法第 12 条第 7 項等）。弊社では、平成 27 年 10 月 8 日（木）、かねてよりご要望を頂いておりました排出事業者様を㈱クリーンテックサーマル（深谷市）へご案内させて頂き、焼却施設、発電設備、監視室などを見学して頂き、廃棄物がどのように処理されているのかをお客様御自身の目で確認して頂きました。廃棄物の処理方法がよく理解でき、安心して処理をお任せできるとの評価を頂きました。



見学をさせて頂いた処分場



見学前の説明



自動保冷庫の見学



ばいじん排出装置の見学



乾燥施設の見学



監視室で焼却炉の燃焼状況を確認

この度、弊社のホームページをリニューアル致しました。弊社の事業内容を更に見易く、分かりやすくする為、初めてのお客様でもお気軽にお問合せ頂けますようリニューアル致しました。会社設立 37 年間の業歴を持つ弊社は更なるお客様のニーズに合ったサービスを提供するべく、お客様に満足頂けるよう日々精進してまいります。今後とも各種廃棄物の処理依頼につきましては是非とも㈱小見山商事にご用命下さい。

【リサイクル豆知識】・・・江戸時代はリサイクル時代だった?!

ごみのリサイクルについては、江戸時代が良く引き合いに出されますが、それもそのはず、江戸の町には、さまざまなごみが回収され、蘇らせるリサイクル社会が出来あがっていたのです。

江戸の町は、江戸中から紙クズや金物クズ、生ごみから落ち葉まであらゆる「クズ」が拾い集められ、クズ寄せ場で種類別に分別され、それぞれの専門業者がお金を払って引き取り、再生紙や新しい金物、堆肥になっていました。そのお陰で、江戸の町は、ごみの落ちていないきれいな町でした。集められた紙クズで作られた再生紙は、「浅草紙」といわれ江戸の名産品でした。紙を漉き返し、再生紙を作る「紙漉町」が浅草寺に近いところにあったことが名前の由来ですが、元は、浅草寺近くの農家の副業としてはじめられたものでした。



株式会社小見山商事
埼玉県狭山市広瀬台 2-7-3
TEL 04-2953-8841 FAX 04-2953-8998
発行責任者/小見山銀蔵 編集者/矢崎浩之
※話題ができ次第不定期に発行します。

弊社では「顧客満足度向上運動」を行っております。廃棄物に関することや当社の提供サービスのことなど、ご質問・ご要望などがございましたら、何なりとお申し付け下さい。

不用品回収・廃家電製品回収・家具及び粗大ゴミ回収・遺品整理・事務所移転等その他廃棄物全般の処分・廃棄・リサイクルなどお困りの際は、まずは弊社にお問い合わせ下さい。